

大山町

だいせん

この地でくらす誇りと喜び
大山と活きるまち



大山と活きるまち

大山町

雄大な日本海を

一望しながらそびえ立つ大山。

その気高き姿は

大山町でくらす人々の誇りと喜び。

四季折々の自然と伝統を魅せてくれる

特別で大きな存在。

美しき山麓を流れる清らかな水。

生い茂る緑を抜ける古道。

一步一步すすめば

歴史を重ねたきらめく神秘の世界が広がる。

大山のブナの森がつくりだす清流は

海へ臨みたどり着き漁港の幸を潤す。

海越えこの地に渡りついた偉人は

あおく澄み渡る美しき自然の絵巻に

心奪われただろう。

昔も今もそして未来も

豊かな自然に感謝し

この地でしっかり生きていく。

INDEX

02 プロローグ
大山と活きるまち「大山町」

04 自然

06 歴史と文化

08 [つながり 出会い]
“みんなですすめる” まちづくり

14 ひとたち
～大山町で活躍するひとたち～

20 おいしいもの

22 季節のイベント

24 大山町マップ

26 インフォメーション

27 アクセスマップ



笑顔あふれる 元気な大山町を目指して

2005年3月28日に、旧中山町、旧名和町及び旧大山町の3町が合併して新しく大山町となり、以来10年を数えるに至りました。これを記念し、新しく町勢要覧を発刊することとしました。

鳥取県西部に位置し、国立公園大山の山頂から日本海まで続く本町は、豊かな自然や景観、おいしい豊かな水、大山山麓の肥沃な大地と良好な漁場を有しています。そのおかげで、多くの農産物や魚介類など、豊かな食材にも恵まれています。さらに、先人たちが営々として築き上げてきた歴史や文化など、誇るべき遺産にも身近に触れることができ、四季を通じて皆さんに楽しんでいただける町です。

本町でも高齢化や人口減少等の課題を抱えています。出合いから結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援や、移住定住、産業振興、健康対策施策などに積極的に取り組むとともに、町民自らの活動展開を推進し、笑顔あふれる元気な大山町を目指しています。

この冊子で本町の町政への理解を深めていただき、未来への活力を感じていただき、ありがとうございました。



大山町長 森田 増範

表紙イラストのご紹介 作者:大下 志穂 ●おおした しほ 大山町在住。大山町の古民家を利用したコミュニティ・スペース「まぶや」や、「大山アニメーションプロジェクト」の立ち上げに携わるなど、地域とアートをつなぐ作家活動を行っている。

プロローグ写真のご紹介 撮影:中嶋 宏 ●なかしま ひろし 大山町在住。壹宮神社第21代宮司。「こうれい史跡めぐりの会」を立ち上げ、郷土の史跡を再認識・再発見をする活動や写真愛好家として公民館での写真展を行っている。

写真テーマ:「MIRAI」

大山町の未来をつくる地域の子カラ。仲間と笑顔で心かよわせる、そんな“まちづくり”に願いを込めて。

春

「雄大」

暖かな太陽と風が
木々たちの眠りを覚まし
新しい生命の葉をつけます。
緑に包まれた山道を進み
山頂に辿り着くと、
おお深き日本海が広がります。

▲ブナの森からダウン
ヒルライド

▲森林に癒やされなが
ら大山の自然を満喫

▲大自然を感じながら
シャワーライミング

夏

「神秘」

天高く育つブナの森は空気と調和する
神が宿るかのような神秘の世界。
木漏れ日に照らされ歩けば、
時おり鳥のさえずりが響きます。

秋

「魅了」

大山の北壁ともみじの
コントラストが
美しい大山の紅葉。
山全体が紅く色づく
壮大な絶景は
色鮮やかな思い出として
心に染まります。

▲大山寺の座禅体験

冬

「幻想的」

青空にどこまでもつづく幻想的な純白の世界。
空が澄んだ晴れた日には日本海を眺めながら
ウインタースポーツを楽しめます。

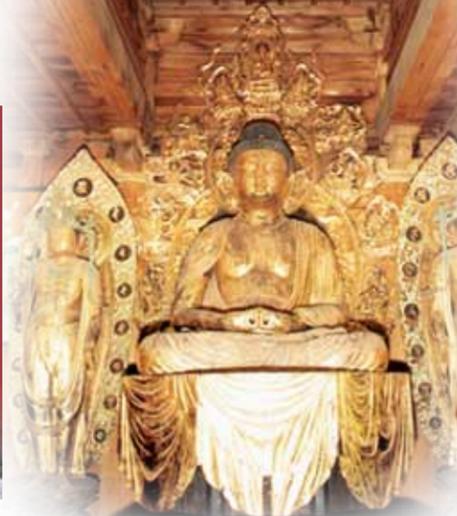
自然に包まれた白銀世界

森から川へ、 川から海へ。

大山を流れる甲川。
その澄んだ清らかな水は
日本海へとそそがれます。
美しい水の循環は
大山町の人々のくらしを
豊かにしてくれます。

日本海から
大山山頂を含む大山町は、
海拔0mから標高1729mまで
海と山の双方の恵みを
たっぷりといただいた
全国でも類を見ない
自然豊かな立地です。

大山信仰 大山寺と大神山神社奥宮



大山寺阿弥陀堂

中国地方最高を誇る大山。『出雲国風土記』の国引き神話に大神岳(火神岳)と書かれるなど、いにしえより人々の信仰をあつめた山です。

大山中腹には、地藏菩薩の垂迹・大智明権現の信仰を中心に、修験道・天台密教や浄土教の影響を受けながら寺院が開かれ、伯耆の大山として広く知られるようになりました。

大山寺は、伯耆地方を中心に中国地方に広がる信仰圏を有し、地方の大寺院として栄え、僧兵三〇〇〇人と呼ばれた勢力を誇りました。

近世には幕府から寺領三千石を安堵されて、地藏信仰・牛馬信仰や日本三大と言われた牛馬市で賑わいました。

明治初めに進められた神仏分離によって、大山寺本社であった大智明権現社は大神山神社の奥宮と定められて寺号が廃され、神仏習合の大山寺の歴史は絶えませんでした。その後、明治36年の寺号復活によって新たな大山寺が興されました。

往時を偲ぶものとして、大山寺阿弥陀堂などの建造物、木造阿弥陀如来及両脇侍像などの仏像があります。



大神山神社奥宮



歴史と文化が息づくまち

元弘3年(1333)、隠岐島を脱した後醍醐天皇は伯耆の海岸に着船。当地の名和氏が、天皇を迎えて船上に奉じ、船上合戦で勝利をおさめて、建武の新政に大きな役割を果たしました。

町内には、天皇ご着船の伝承地や、名和氏の屋敷跡と伝わる名和公屋敷跡、合戦で命を落とした族郎党の墓と伝わる五輪塔群などがあります。

また、名和氏の菩提寺と伝わる萬歳山長綱寺、村人が名和長年を氏の殿として奉った氏殿神社、南朝の忠臣・名和の社もあり。現在、これら太平記ゆかりの地の足跡をたどる「太平記ウォーク」も行われています。

『太平記』ゆかりの地



名和公屋敷跡



名和神社



後醍醐天皇の御腰掛の岩



萬歳山長綱寺



名和公一族郎党の墓



氏殿神社

国史跡妻木晩田遺跡は、弥生時代後半(1~3世紀)頃に営まれた大集落。現在は県立の史跡公園が整備されており、復元された竪穴住居などの見学に多くの人が訪れています。

妻木晩田遺跡

弥生の国邑



金龍山退休寺

延文2年(1357)に山陰で初めて開かれた曹洞宗寺院の古刹。

山内の五塔頭から末寺が増え、伯耆地方における曹洞宗の本山として栄えました。町指定文化財の山門・土塀などが往時の面影を伝えています。

末寺には、通称「ふじ寺」として知られる仏通山住雲寺や、小泉八雲が「盆踊り(いさい踊り)」に感銘を受けたことで知られる小泉八雲ゆかりの寺・泰平山妙元寺も有名です。



所子伝統的建造物群保存地区

大山の北西麓は農業が盛んな地域で、農村の姿をよく留める所子集落は、国から重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

集落内には、重要文化財の門脇家住宅をはじめ、県指定、国登録有形文化財などの建造物を核に、昭和30年代前半頃までに伝統的な工法で建築された家屋が群として残され、周囲の田畑や、集落内を流れる水路などが一体となって、伯耆地方の伝統的な農村の風景を伝えています。



門脇家住宅



小泉八雲ゆかりの泰平山妙元寺



「ふじ寺」で知られる仏通山住雲寺



伯耆地方の伝統的な農村の姿をいまに伝える所子の町並み

「つながり 出会い」

みんなですすめる

まちづくり

人と人が助け合い高め合い、
活気あるまちづくり。笑顔が
あふれこの地にくらす誇りを
忘れない、魅力あるまちへと。



地域・祖父母ボランティアの方々と一緒に、『元氣もりもり畑』に夏野菜を植えています(大山きやらばく保育園)

「なかま」

くらしやすい環境と
笑顔あふれる元気な
まちづくり

「大山未来会議」、「地
域自主組織」、「鳥取大学
連携」など、住民が主体と
なって、魅力あるまちづ
くりを進めています。
これらの活動によって
「なかま」の輪がどんど
増え続けています。

大山未来会議では、10代
から70代までのメンバーが
約70人集まり、「なかま」と
なりました。

また、地域自主組織
は、主体的にまちづくり
に取り組み「なかま」を増
やしなからそれぞれの地
区を活性化させる取り組
みを実施しています。

大山町未来づくり10年プラン

大山の恵みを受け継ぎ更なる進展

大山町では、10年に1度、総合計画を
策定することになっています。
これは、今後10年間、大山町はどんな
町を目指すのか、様々な分野にわたって
政策を練ったもので、大山町の行政は、
この計画に基づいて運営されています。
計画策定にあたっては、その過程を通
じて、地域における具体的な活動を生み
出す担い手の育成の場と位置付けてい
ます。そのため、住民と役場職員が参画
した「大山未来会議」を組織し、その素案
が検討されました。



▲未来会議のワーク
ショップ



▲今後のまちづくりに
おける役場職員の心
構えについて定期的に
研修会を開催

みんなでやらいや

ひとりひとりがまちづくりの主役

地域の特性を活かした魅力あるま
ちづくりを進めるためには、地域住民
が主体となったまちづくりを進めてい
く必要があります。
本町では、住民が主体となったまち
づくりを推進す
るため、旧小学
校区ごとに地域
自主組織を設立
する取り組みを
進め、地域自主
組織をはじめと
する多様な人々
と協働したまち
づくりを進めて
います。



▲庄内地区で地域自主組織が設立



地域住民の交流の場所として、『夕陽のスポット』を整備
(支え合いのまち御来屋)

鳥取大学連携

活力のある地域づくりの推進

平成26年3月26日に「鳥取大学と大
山町の連携に関する協定書」を締結
しました。鳥取大学との連携は、町
立診療所・健康教室等への医師派遣
など協定締結前から実施されていま
したが、協定締結後には様々な分野
での連携が図られています。
教員や学生の活動は町を賑やかに
し、活性化させます。今後も、「大学を
活用する地域」、「地域を活用する大
学」として連携を深め、鳥取大学の
「知」を活用したまちづくりの推進を
図ります。



▲鳥取大学と大山町の連携
協定調印式



▲大山町文化祭で鳥取大
学の学生による出前防災
教育

「まなび」

大山の恵みを受けて
生き生き輝く人づくり

大山町は、豊かな自然、誇りうる歴史・文化、産業等、多くの資源にあふれています。

「大山の恵み」であるそれらの資源を活かしながら、家庭、保育所、学校、地域が一体となり、子どもたちに豊かな心、健やかな体、確かなちづくりを進めます。

切れ目のない子育て支援

安心して子育てできる環境



▲父母も祖父母もみんなでお育て

みんなでサポート地域で子育て

妊娠・出産から子育てまで切れ目のない子育て支援の窓口として、子育て世代包括支援センター「すくすくおやこステーション」を開設しました。

「くらし」

くらしやすい環境と
笑顔あふれる
元気なまちづくり

人口減少、少子高齢化、情報化等の社会に対応するため、行政だけでなく、民間団体、民間企業等と連携・協働して、事業を展開しています。

移住定住の促進による地域の活性化、ケーブルテレビを活用した住民参画型番組の制作、新たな交通機関の運営による移動手段の確保など、誰もがくらしやすい環境の整備と元気なまちづくりの支援を行っています。

大山町移住定住促進プロジェクト

大山の麓をめぐるバスツアー

大山町では、移住・定住業務の大半を民間のまちづくり団体「移住交流サテライトセンター」への委託により、運営しています。

移住定住促進の企画の一つとして、「大山の麓の物件をぐるっとめぐるバスツアー」を実施し、空き家の現状の把握と活用方法についての検討なども行っています。

これらの取り組みを通じて、空き家を地域の資源として活用し、魅力的なまちづくりを進めます。



▲▲移住者も同行して集落を歩き、空き家見学



保小中が連携した教育の推進

ふるさとを愛する心を育てる

大山町では保育所を教育委員会の所管とし、保育所・小学校・中学校が連携した教育を推進しています。地域の人々とのつながりを大切にしながら、自然体験、生活体験を重視した保育・教育に取り組み、自分たちの住む地域に誇りを持ち、ふるさと大山を愛する子どもたちを育てます。

保育所から中学校に至るまで、発達の段階に応じた子どもの読書活動の推進、脳活学習、リズム運動や体力向上の取り組みを進め、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成に努めます。



▲小学生のお兄さんやお姉さんと楽しく遊ぶ

「生き生きと暮らせるまちづくり」

地域コミュニティ活動の推進

対話でつながる地域の絆

各種の講座や教室を開催し、社会教育の拠点として、また、地域住民のネットワークづくりの拠点としての役割を果たしてきた公民館活動を一層充実していきます。

そして、旧小学校区ごとの地域自主組織と公民館とが連携しながら、学習機会や地域コミュニティ活動の場を提供し、地域の人と人が豊かにつながる、生き生きとくらししていくことのできるまちづくりを進めます。



▲地域の方々と一緒に夕食づくり(なかやま通学合宿)

▲上段/なわ通学合宿でのふれあい交流会

▲下段/所子地区住民の運営による「納涼の夕べ」

ケーブルTV大山チャンネル

番組づくりがまちづくりへ

東京の映像制作会社への委託により、イベント・行事などの取材中心だった番組制作が、住民参加型を軸にした番組づくりへと進化しています。協働してひとつの番組を作り上げることでも、まちづくりの意識が高まりつつあります。

これまで気付かなかった大山町の魅力を丁寧に見つめ直すことで、町民同士が繋がり、郷土愛が育まれます。そのいきいきとした姿は自然な輝きを放つ発信力になり、全国に多くの大山町ファンを作るでしょう。



▲旧逢坂保育所をスタジオにした大山チャンネル番組収録風景
出演者やスタッフとして住民も参画、協力

スマイル大山号

生活に必要な移動を確保する

スマイル大山号は、町内のどこにお住まいでも、通院や買い物など日常生活に必要な移動を確保するための交通機関です。タクシーのように乗車予約を行います。タクシーと異なるのは「乗り合い」での運行と、運行時間(ダイヤ)があることです。

町内全ての集落に設置された乗車場所から、大山町が定めた目的地(医療機関や商店、金融機関、役場、JRの駅やバス停など)との相互間、または、目的地と目的地の相互間にご利用いただけます。



▲大山町の自然環境を守るため、電気自動車5台を使用して運行

ほこり

このまちでぐらす
幸せと誇りをもてる
活力ある文化づくり

社会教育の拠点であり、地域住民のネットワークづくりの拠点でもある公民館を中心に、生涯学習と地域コミュニティ活動を推進していきます。

また、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じていつでもどこでもスポーツに親しむ生涯スポーツ社会の実現を目指します。

そして、町民一人ひとりが人権感覚を磨き、人権問題の解決に向けて主体的に行動できるよう人権教育を推進し、心豊かにつながる人づくりを進めます。

げんき

町全体で
取り組む
健康づくり

「健康でいつまでも活き活きと生活できる。」
誰もが望んでいることです。

大山町では町民一人ひとりの健康であるための知識が高まり、それが継続した実践へとつながるよう、町民と団体・組織及び行政が協働して、住民の健康づくりを進めています。

これまで取り組んできた各種イベントや事業の成果を振り返りながら、健康づくりの基本となる「食」「運動」「健診」を、新たな視点での取り組みとしてチャレンジしていきます。

大山町総合文化祭

大山の恵みに抱かれて

文化の薫りあふれるまちづくり

大山町総合文化祭は、町内でおこなわれている多彩な生涯学習活動の発表の場、大山町にゆかりのある芸術家の発表の場として、年に1度2日間にわたって開催されています。会場内には絵画や手工芸作品、生け花などの展示、ステージでは、子どもや住民による演技や演奏が発表されます。

また、屋外では地元の特産品や、じげの味が販売され、住民同士がふれ合うことのできるイベントとなっています。



▲住民ふれあいのバザー
◀学習成果の発表
(公民館争教室)



大山学講座

大山の魅力再発見!

住む町の魅力を発掘して伝える

地元大山町の素晴らしさを再発見するための年6回の講座です。毎回いろいろな町内の「魅力」にスポットをあて、学んでいます。

ジャンルは歴史や文化、産業や自然などさまざまです。内容は、講演のほか、大山周辺の散策や、町内の工場見学、歴史探訪のフィールドワークや、じげの味を味わえる調理実習など、わが町の魅力と可能性を再発見しています。



▲人気講座のフィールドワーク
(工場見学)
◀講師の説明に聞き入る参加者
(歴史ウォーク)



名和マラソンフェスタ

風光明媚な大山町を走る・歩く

山と海を感じるスポーツイベント

南に大山、北に日本海を眺望できる風光明媚な大山町を舞台に、健康増進と参加者相互の親睦を図るスポーツイベント。ハーフマラソンやウォーキングなど様々な部門を設けており、毎回県内外よりランニングやウォーキングの愛好者が多数参加されます。



▲コース沿道では、地域の方がボランティアとして協力
◀町内外より多くの方が参加



大山町民の健康づくり事業

健康増進のため連携した取り組み

様々な場面での健康づくり

大山町では健康寿命の延伸や医療費の低減を図るため、「食」「運動」「健診(検診)」を柱に据えた「大山町民総健康づくり運動」を展開しています。

「食」は、幼児期からの食育推進と全町民への減塩推進を、「運動」は、だれでも取り組める運動の習慣化の促進を、「健診(検診)」は、特定健診、がん検診等の受診率向上を目指しており、それぞれ関係のある組織・団体・事業所等と連携を深めながら、実効のある取り組みを進めています。



▲平成27年2月に、全国健康保険協会(協会けんぽ)鳥取支部と、「大山町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結



江戸時代から踊り継がれた伝統文化～いさい踊り～

この地に受け継がれた貴重な伝統文化を、地域の力で守り続ける。

「いさい踊り」は、すり足に近い足運びで前後に動きながらゆっくりとした手の動きと、ゆらりゆらりと揺れる調子で続けられる踊りです。

明治23年小泉八雲が下市を宿とした際に、近くの妙元寺でいさい踊りを見学。その情景に感嘆し自らの著書「知られぬ日本の面影」にすばらしさを記しています。

その伝統は「中山いさい踊り保存会」により受け継がれ、次世代への伝承活動が行われています。現在も毎年8月18日に、中山公民館で行われる盆踊りにて踊り継がれています。



伝統芸能保存活動

スポーツしよい大山

カラダを動かすきっかけづくり

地域でスポーツを楽しむ、スポーツを通じた健康づくりのきっかけとなるよう活動している総合型地域スポーツクラブ。平成23年に設立され、卓球やボウリングなどのスポーツを楽しんでいます。また、ウォーキング大会やトップアスリートによる教室など、多くの方に体を動かす楽しさを体験いただけるスポーツイベントを企画・運営しています。



こころの健康カルタ

こころの健康を保ち大切な命をまもる

平成22年度に公募して「こころの健康カルタ」を作成しました。読み札の裏には標語の解説や知っておいてほしいことを記載しています。より多くの方に健康カルタを知ってもらうため、普及員の養成も行い、イベントや集落に出向いての普及活動も進めています。

標語の温かい言葉は心の健康づくりを考え、好評を得ています。今後、カルタを活用し、心を健康に保つ取り組みの輪を広げていきます。





「自然の恵みたっぷりの
地元のおいしい食材で
みんなを笑顔にしたい」

大山口駅のほど近くに、まちづくりの拠点『ふれあい茶論・弥生の風』があります。
近隣住民の「集いの場がほしい」の声に応え、地域で活動する女性グループにより立ち上げられました。メンバーは12名。JAの空き店舗を活用した憩いの場です。
店内では地元食材を使用したランチと喫茶が味わえます。メニューづくりから調理まですべてメンバーで運営。また、お年寄りをお世話するミニデイサービスのボランティアが平日に毎日行われています。各メンバーの得意分野を活かした教室で、お年寄りの生きがいサポートも。
地域の力が詰まった店内は、笑顔あふれ心通う温かな空間です。

ふれあい茶論
弥生の風

●やよいのかぜ
店舗内の販売棚には野菜や地域で活動する他の女性グループが製造した商品が販売されています。

ふれあい茶論 ☎080-1901-4164
大山町大山口(鳥取西部農協大山口支所となり)
■営業時間 10:00~15:30ごろ
■定休日 土・日・祝

Photo:まぶカフェ



ひとたち

「この町が好き」。大山町でくらす素敵なひとたち。



この町で生まれた人、この町にやってくる人、理由は違えども心はおなじ「この町が好き」。
そんな大山町で生き活きと活躍するみなさんをご紹介します。

「親子で生き活きと
子育てしやすい
仲間づくり地域づくり」



大山町では、出産や育児を楽しめるように、5つの子育てサークルが活動しています。
子育て支援センターを拠点に、0歳から参加できるリトミックやママヨガなど親子が互いに楽しめる教室や、親子で食の安全性を学ぶ料理教室などが行われています。そのほか、親同士がゆったりリフレッシュできる茶話会や、気軽に交流できる催しなど、多彩です。
また、大山の豊かな自然と触れ合う遊びや、「ほんもの」の出会いを大切にしたい「アートのスタート」事業、お父さんサークル「パパ吉」と連携した活動や祖父母の人生経験を活かしてもらおう場づくりなど、子どもたちを地域体となってサポートする先進的な取り組みも行っていきます。

子育てサークル

- 子育てサークルなかやま
子育て支援センターなかやま
☎0858-58-6062
- 育児サークルひまわり
子育て支援センターだいせん
☎0859-53-1157
- 名和ふれあいサークル
子育て支援センターなわ
☎0859-54-2395
- 子育てサークルエコママ
子育て支援センターなわ
☎0859-54-2395
- どうぶつクラブ
子育て支援センターなわ
☎0859-54-2395

「食と農をつなげ伝える
この町の梨を守り
おいしさを届けたい」



梨農家の婦人を主体とした「美野梨つくしグループ」は梨を使った商品を企画し製造販売をしています。
現在メンバーは10名。剪定や土づくりなど、梨に関する勉強会をそれぞれでしていた「美野梨グループ」と「つくしグループ」が結束し誕生しました。
梨の剪定作業をするときに出る枝を利用した「事故ナシ」^梨、梨の木をつけて気をつけて「お守りキーホルダー」をつくり、地区の新小学一年生に贈るなど、その活動は時を経て地域や梨の発展になくてはならない存在となっています。

梨の伝道師

美野梨つくしグループ

●みのりつくしぐるーぶ
梨農家の婦人仲間が平成5年に結成。丹精込めて育てた梨を無駄にすることなく食べてもらえるよう、梨のおいしさを消費者に伝える活動をしています。

まち・ひと・しごと

みんなの想いで

この町の未来をつむぐ

大山町未来づくり10年プラン 大山未来会議

●だいせんみらいかぎ

平成28年度から10年間の町の指針を示す「大山町未来づくり10年プラン(総合計画)」を策定するために組成された組織です。大山町の10年後を見据えた取り組みを考え、実際の活動につなげています。

事務局:企画情報課未来づくり戦略室
☎0859-54-5202
大山町御来屋328

大山未来会議では、ワーキングショップを開いたり、多方面で活躍する著名人を招いたり、理想の社会をどう作るかについて議論、見聞を

「なにかま」の視点、「しごと」の視点の5つのテーマで、チームに分かれ、それぞれのアイデアを実践に結びつける活動を行っています。



また、東京に本社を置く会社があるという活動に共感され、本町に進出する等しており、メーカーと企業が一体となって地域課題を解決していく取り組みも展開されています。

参加した理由は、ちなつていもともと地元が好きで就職したことをきっかけに。仕事をしながらこれまで勉強してきたことを活かせたい。

たまちゃん 今日まで15年間県外にいて戻ってきました。以前仕事で地元活性化を考えている地域に住んだことがあって興味を持ったんです。それが地元で行われていることを知って参加しました。

あいちちゃん 結論から言うと周りから誘われてなんです。自分も農業をやって、大山町の農業のイメージを変えたいとかそういう風によつてもともと地域の活性化に興味があったので参加しました。

活動の中で印象深かったことは、みきちゃん 知らなかっただけで優秀な人がたくさんいるんだなって。のりくん いろいろな会を通して付き合うなかで、大山町のことを良くしたいのと、ひとりひとり違う世界観を持って想っている人がこんなにも多くいることに驚きました。

ちなつてい 人口減少など現状についての具体的なデータを見て危機感を持って...これから考えていかないといけないんだなと思いました。

自分の定義や課題はありますか。

みきちゃん みんなでやることにしていることに対して継続的でないとけないと思つて。10年後も繋げられる形づくりをすること。できるだけシンプルで誰が見てもわかりやすい目にとまるものを作りたい。

のりくん つねに心がけていることは、参加メンバーや大山町の双方にメリットがあるようなことをしたいなって。おっぴー 今までどおりを思う人を置いてきぼりにして活動したくないんです。昔から住んでる人たちも大切にしたい。

ちなつてい いちばん下下なんです。意見するとみなさんイイねーって否定しないで受け入れてくれるんです。だから自分も否定せずに言いやすい環境づくりを心がけています。

どんな仕掛けをしていきたいですか。おっぴー 若い人がもし県外に行つてしまったとき、戻りたくなるような記憶に残るきっかけづくりをしています。声掛けして会話して、学生の先輩みたいな。そういえばあの人がたなつて、懐かしく思つて故郷を思い出してくれるように。

おっぴー 若い人がもし県外に行つてしまったとき、戻りたくなるような記憶に残るきっかけづくりをしています。声掛けして会話して、学生の先輩みたいな。そういえばあの人がたなつて、懐かしく思つて故郷を思い出してくれるように。



栄光の漢のりくん

帰ってきた料理男子たまちゃん

花農家の看板娘おっぴー

フジミスト王子みきちゃん

おしられ大好き天然ちゃん

ワイルド農家あいちちゃん

笑顔のある暮らし

みんなのやりたいを

カタチに



引き寄せ合う仲間 築き会

●きずきかい

平成24年1月1日に結成されたIJUターナーを中心とした異業種若手起業家等による任意団体です。地域資源の活用と地域活性化を図ることを目指し、さまざまな取り組みの企画運営を行っています。

大山町移住交流サテライトセンター(まぶや内)
☎050-5205-5390
大山町上市29

「築き会」は、結成当初、宮大工、素潜り漁師、理学療法士の3人の若手起業家からスタート。平成25年には築90年の古民家を活用したコミュニティ・スペース「まぶや」をオープンし、活動拠点ができたことで、新しいメンバーも徐々に加わり、平成27年現在、約30名のメンバーが、それぞれの得意分野を活かしながらさまざまな活動に取り組んでいます。一例をあげると、「大山アニメーションプロジェクト」などのアーティストとの交流や、地元の食材を活かした食の祭典「大山フードスケープ」の企画・運営、民家の保存・再生・活用を目的とした試み「民家フォーラム」の開催、親子で楽しめる音楽とダンスのイベント「中山カリブの祭」、婚活イベントの企画・コーディネート、高校生などの若者の夢をサポートする「夢プロジェクト」など、多岐にわたります。

活動拠点は、『地域』と『ひと』をつなぐ古民家『まぶや』です。



■JR 山陰本線下市駅から徒歩10分
■車 国道9号線から松河原交差点(角にデオデオ)を山側に入り、すぐ左折、800mほど道なりに進んだ右手。
・米子方面から▶山陰自動車道[中山IC]より西へ約10分
・鳥取方面から▶山陰自動車道[赤碕中山IC]より西へ約10分

コミュニティ・スペース まぶや (まぶカフェ併設)
☎080-1946-2614(やらいや逢坂事務局) 大山町上市29
■営業時間 11:00~17:00ごろ
■定休日 火・水曜
http://mabuya.weebly.com/

残すべき技術と知識を

未来のマイスターへ

大切に伝えたい



農の達人

大山町アグリマイスター

大山町の特産品である梨、白ネギ、ブロッコリーの生産に従事し、極めて優れた技術・技能を持ち、農業の活性化に意欲的な「農の達人」です。

大山町アグリマイスター協議会事務局
☎0858-58-6116
大山町赤坂66大山町役場中山支所
(農林水産課)

大山町農業の「担い手の

育成・確保」と「活性化」を

目指して、大山町アグリマ

イスターの制度は作られ

ました。

新しく農業を志す者

に、現地研修の場を提供

し、技術及び知識と経験

を伝え指導する「師匠」で

あるとともに、大山町の

農業を牽引する「トップラ

ンナー」です。

プレイングマネージャー

として、自身の資質の向上

と、後進の育成を通して、

本町の基幹産業である農

業の活性化のために自信

と誇りを持って、活動して

います。

この町に住んでみたい

ひとの心を動かす

活動家を目指して



大山町では、平成26年度から地
域おこし協力隊制度を活用して
います。

町内での起業を目指す「起業

部門」3名、大山町の地域特産

物である梨・ブロッコリー・白ネ

ギの担い手として独立就農を

目指す「定住（農業）部門」4

名、観光商品開発を目指す「観

光部門」2名の合計9名が活動

しています。

いずれも、「大山町をより良い

地域にしたい」「大山町のため

何かをしたい」といった思いを

持って活動をしています。それぞ

れがミッション達成に向けて取り

組み、任期終了後も大山町へ定

住し、地域の大きな力となっ

ていくことが期待されています。

地域おこし協力隊

●ちいきおこしきょうりょくたい

人口減少や少子高齢化が進んで
いる地方へ、都市部からの人材を
招致し、地域力の維持・強化を図
ることを目的とした総務省の制度
です。

事務局:企画情報課未来づくり戦略室
☎0859-54-5202
大山町御来屋328

ブロッコリー部会

大山ブロッコリー 「きらきらみどり」を ブランド化へ



『大山ブロッコリー®』の全国的
なブランド化と、次世代へとつ
ながる未来ある産地づくりを目
指して活動します。

これまで、出荷形態を縦詰めか
ら横詰めに変更、全国に先駆け
た葉付出荷など、先進的な取り
組みにより、差別化に成功して
きました。
今後も攻めの姿勢で、ブランド
産地化に取り組みます。

梨部会

大山の恵みで育った “二十世紀梨” 自慢のおいしさです

大山から湧き出したミネラルたっ
ぷりの水と、肥沃な大地に恵まれ
た大山の麓で、みずみずしく、甘い
梨を生産しています。

大山町では、鳥取県の代名詞で
もある二十世紀梨に加え、「新甘
泉」「王秋」などの新品種によっ
て、夏から秋にかけて次々と旬の
梨を提供できます。

伝統に根ざした新たな挑戦と、達
人たちの丹精込めた栽培管理で、
消費者に美味しい梨を届けます。



白ネギ部会

周年栽培で 一年を通して おいしいをお届け

大山の麓で、きれいな水・空気・豊
かな黒ぼく土壌でつくられた、甘
くて美味しい白ネギを提供してい
ます。



「春ネギ」「夏ネギ」「秋冬ネギ」と
年間を通じ、消費者に届けるこ
とができます。

これからも、先人の努力により確
立してきた栽培技術と、積み上げ
てきた信頼を守り、次世代に伝え
るために活動します。

皆でいっしょに笑い

いっしょに考え

楽しく地域づくり



地域自主組織の「ふれあいの郷
かあら山」は、高麗地区の幅広い
年代の人達が参加して支え合い
の地域づくりを進めています。そ
して、人材、自然、食、歴史、文化
など地域の資源を使った活動に
より、住んでいて「楽しい」と思え
る高麗地区、「安心」「安全」な高
麗地区づくりを目指しています。
かあら山には、「いきいき健康つ
くり」、「お宝発信」、「いっ
k i d s」、「サロン」の4つの部会
があり、それぞれが様々なイベン
トを企画・運営しています。

このような地域自主組織は、平
成27年9月現在、10の小学校区
のうち6地区で設立されています
が、将来は全地区での設立を目
指しています。

ふれあいの郷 かあら山

●ふれあいのさと かあらやま

平成21年度から、「地域の課題は、
地域の住民自らが解決する。」こ
とを目的として、町内10の旧小学校
区にまちづくり地区会議が設置さ
れ、そのいくつかは「地域自主組織」
設立に発展しました。

☎0859-53-5277
大山町妻木582-1

大山山麓の豊かな土と水、
日本海の壮大な海。
山と海に囲まれた大山町は、
おいしさ盛りだくさんの恵みの町です。

ヨーグルト



大山の標高700mの牧草地で飼育された乳牛の絞り立ての生乳を使い、ヨーグルト商品がつくられています。
香取村ミルクプラント
ヨーグルト商品を購入できます。

大山山麓の山の恵み

大山山麓のブナ林は西日本最大級の面積を誇ります。ブナ林は広く深く根を張り、雨水を蓄え浄化。この町に絶え間なくおいしい水を運んでくれる“森の天然ダム”です。

だいせん町産の おいしいもの

畜産



牛、豚、鶏など大山の豊かな自然で育った畜産は全国でも高い品質が認められています。
【牛】鳥取和牛、乳牛
【豚】大山ルビー豚
【鶏】大山ハーブ鶏

ブルーベリー



黒ボク土の酸性土壌はブルーベリー栽培に適しており、早生から晩生まで幅広い品種が育てられています。大山の自然の恵みが詰まっています。
【収穫時期】6月～9月頃まで

大山そば



大山寺僧侶の奨励によって蕎麦栽培が広がりました。小麦粉2、蕎麦8の二八が基本。大山のふもとで育った蕎麦の実を、甘皮まで挽いた香り豊かな素朴な味わいです。

大山おこわ



祭時や例祭に各家庭で食されていた大山の伝統食です。鶏肉、野菜、栗をもち米で炊き上げます。季節の野菜や山菜を加えるなど、一年中親しまれています。

白ネギ



黒ボクの土壌で甘みと食味に優れた白ネギが栽培されています。春ネギ、夏ネギ、秋冬ネギと土壌に合った品種が栽培され、通年味わうことができます。

自然と共生大地の恵み

大山には火山灰を母材とした黒ボク土がひろがります。黒ボク土は有機物が含まれており、大山で育つ実りをおいしくしてくれます。

ブロッコリー



西日本トップの生産量です。「大山ブロッコリー®」としてブランド化されています。なかでも「さらさらみどり」は、栽培方法や美味しさを厳しく限定した高品質のブロッコリーです。

梨



二十世紀梨

二十世紀梨を柱に、新品種の新甘泉、なつひめの栽培がされています。大山の肥沃な大地と湧き出るミネラル豊富な水で育った果実は、みずみずしく爽やかな甘さが広がります。
【収穫時期】8月～9月頃まで

りんご



西日本最大規模を誇るわい性りんご団地では、敷地内の4軒の農園で、つがる、ジョナゴールド、フジなどを栽培。りんご狩りができます。
【収穫時期】9月～11月頃まで



新甘泉



なつひめ

お茶 & 紅茶



大山の標高300mの高冷地でゆっくりと育った茶葉は香り高く深い味わいです。また北米原産のエキナセアも栽培されハーブティーとして大山の新しい名品となっています。

日本海の海の恵み

大山から流れる天然ミネラル成分をたっぷり含んだ清流は海へと流れ着き、美しい海がつけられます。また、日本海には暖流と寒流がまじわり良質なプランクトンが多く生息します。自然豊かな海の恵みからおいしい魚が育つのです。

お魚センターみくりや(P25)
御来屋港の豊富な魚介が味わえる直売レストランです。

サザエ



県内数多くある漁港の中でも、大山町の御来屋港が県下一の水揚げを誇ります。旬の5月はさざえ祭りが開催され、町の名物となっています。
【収穫時期】5月、7月～8月頃まで(6月は禁漁)

うに



大山町の沿岸では、ぼふんウニや幻のウニである赤ウニなど新鮮なウニが収穫できます。最盛期の夏季には岩ガキと並ぶ山陰の夏の味です。
【収穫時期】7月

米



大山のブナの森から流れる冷たい水と、黒ボク土の豊かな自然の中で育った米は県内外で高い評価を受けています。無農薬や有機栽培などにこだわった米づくりも盛んです。

サワラ



近年、回遊の経路の変化のため日本海でも漁獲されるようになりました。御来屋港でも県内トップクラスの水揚げ量を誇り、新たな名物となっています。
【収穫時期】10月～7月頃まで

板わかめ



大山の雪どけ水や植物プランクトンの豊富な栄養を受けて育った天然わかめ。一枚一枚丁寧に紙のように薄く干して板わかめがつけられます。
【収穫時期】4月

岩ガキ



県内で獲れた岩ガキの13cm以上の高品質なものは、夏輝(なつき)として認定されます。大山町の沖合いでもおいしく育った夏輝が収穫されます。
【収穫時期】6月～7月頃まで

郷土料理

一次産品

加工品



大山町の四季を彩る 季節のイベント

春

- 大山口農具市
- 太平記ウォーク
- 大山 春の一斉清掃
- 藤まつり
- 門脇家住宅 春の一般公開
- 御神幸行列 (逢坂八幡神社例大祭)
- みくりや
- ポートフェスティバル&さざえ祭
- 名和マラソンフェスタ
- 大山寺御幸 (御興行幸) 三年に一度開催
- 大山新茶まつり

夏

- 大山夏山開き祭
- 大山町納涼花火大会
- 大山 お盆の大献灯
- 甲川溪流まつり
- ぐくちゃんまつり

秋

- むきばんだまつり
- 大山はまなすサイクリング
- とっとりバーガーフェスタ
- 国信八幡神社神幸祭
- 大山 秋の一斉清掃
- 秋色週間
- (大山寺 秋のご縁日)
- 皆生・大山 SEA TO SUMMIT
- 門脇家住宅 秋の一般公開

冬

- だいせんホワイトリゾート オープニングセレモニー
- 大山スノーフェスティバル
- (仮装して滑走大会)
- 大山ホワイトウォーク





仁王堂公園

360度自然が見渡せる大パノラマの芝生公園。園内にはチビッコに人気の自由広場・遊具もあり、週末には多くのファミリーの憩いの場としてにぎわっています。



夕陽の丘神田

名和地区にある、南に大山、北に日本海・島根半島が一望できる丘陵地で、夕日が見れる絶景スポットとして定評があります。



大山町立図書館

中山地区にある町立図書館。名和分館、大山分館があります。各図書館への利用が不便な方のために、図書巡回車を使用した「動く図書館」もっています。



大山きやらぼく保育園



名和さくらの丘保育園



中山みどりの森保育園

大山町の保育園

木の温もりが感じられるあたたかみのある園舎は、明るく開放感にあふれのびのびと生活することができます。健康に配慮した採光や空調システム、環境や省エネを考えた設備が整い、子どもたちが心豊かに楽しく育っています。



道の駅 大山恵みの里

大山周辺のおいしいものに出会える道の駅です。朝採れ野菜や、地元の加工品まで品揃え豊富。レストランでは、地元の素材にこだわったお食事やスイーツが味わえます。



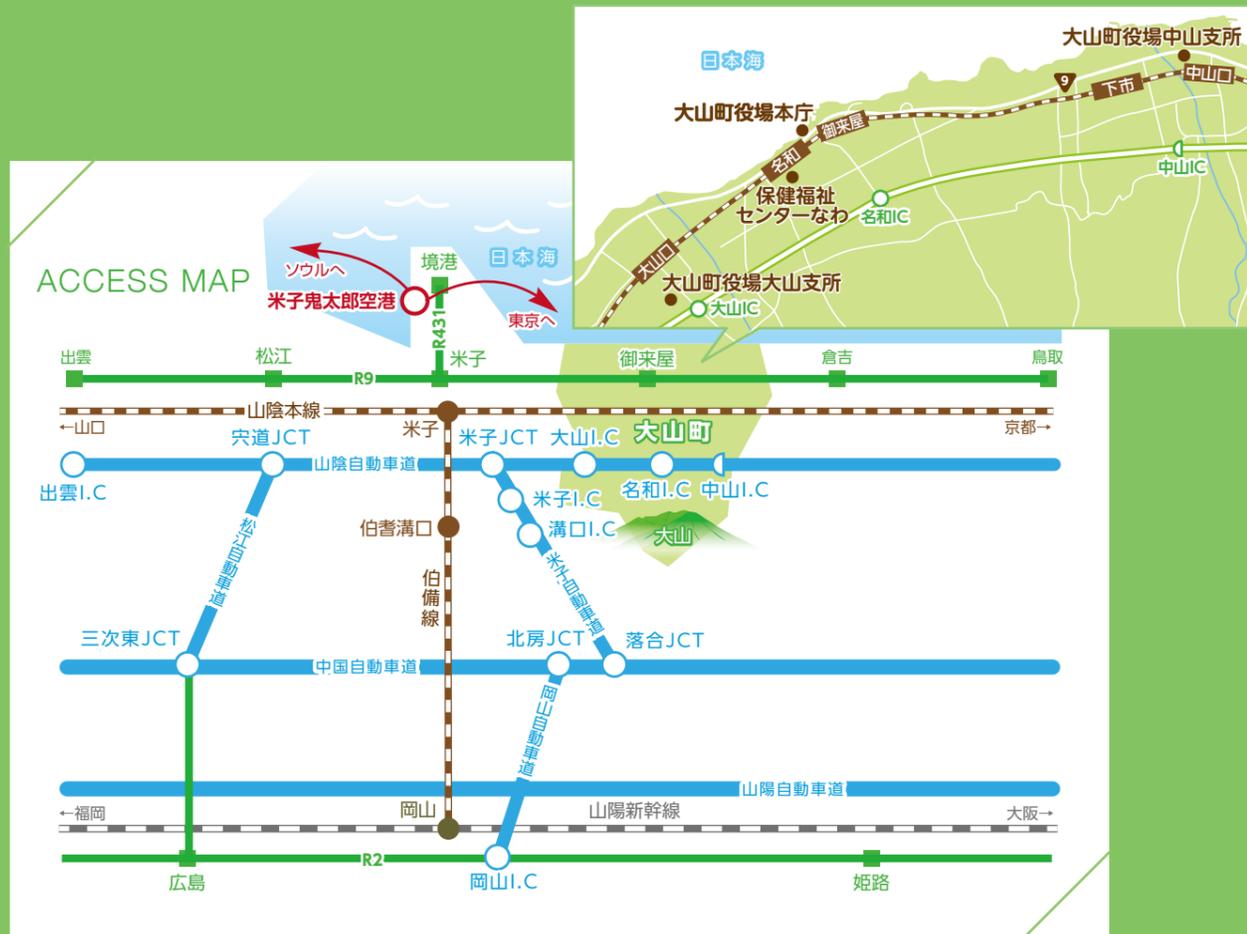
お魚センターみくりや

1階は御来屋港で水揚げされた新鮮な魚類が購入できる直売コーナー。2階は港を一望しながら新鮮な地魚料理を堪能できるレストラン。日本海のおいしさ満載です。



中山温泉館 ゆーゆー倶楽部 NASPAL

大山の麓にある日帰り温泉です。アルカリ性単純温泉の泉質は美肌やリラックス効果が期待でき「美肌の湯」と言われています。



D-Club
 大山町役場観光HP
むきぱんだ
 マスコット

歴史ロマンあふれる「妻木晩田遺跡」生まれ。「くもいても、もいても、むきぱんだ〜」をキャッチフレーズに、町内どこにても出没。日々大山町の観光振興に一役買ってま〜す。



むきぱんだ MUKIPANDA

- 出身地** 鳥取県西伯郡大山町妻木(むきぱんだ遺跡(MUKIBANDA ISEKI)生まれ)
- 好きな食べ物** タマネギ・ブロッコリー
- 特徴** 皮をむいてもむいてもぱんだが出てくる
- 特技** 大山賛歌体操

大山町

INFORMATION

町章



「D」をアレンジしたもので、緑は大山の恵みを、青はきれいな水、水色は澄んだ空気を表しています。これらの豊かな環境資源の中で、元気に躍動する新町の姿を描いています。

町民憲章

私たち大山町民は、豊かな自然と輝かしい伝統・文化を有するふるさと大山に誇りを持ち、明るく住みよい町をつくるために、この憲章を定めます。

- 一、大山の恵みに感謝し、豊かな自然や文化を守りましょう。
- 一、温かい家庭や地域の中で、健やかな心と体を育てましょう。
- 一、信頼とつながりを大切にし、みんなの力でまちづくりを進めましょう。
- 一、一人一人が大切にされ、互いに支え合う町をつくりましょう。
- 一、誇りを持って仕事に励み、活力とにぎわいのある町をつくりましょう。

町の花



ハマナス

バラ科に属する植物で、初夏になるとピンク色の花を咲かせ、秋には梨果に似た橙色の実をつけます。松河原の海岸のハマナスは『ハマナス自生南限地帯』として、国の天然記念物に指定されています。

町の木



ダイセンキャラボク

イチイの変種で、日本海側の高山に分布。葉は針葉で枝の周囲から出ており、秋には雌木に淡紅色の実がなります。大山の8合目あたりから頂上間にある北西側約8haの緩斜面には群落が広がっており、キャラボクの群落としては日本最大で『大山のダイセンキャラボク純林』として、国の特別天然記念物に指定されています。

町民歌

大山賛歌

わがこころの山

作詞 松田美代子
 補佐 松井由利夫
 作曲 編曲 川口真

あなたがもしも ひとりになって
 静かにこころを みつめてみたい
 そのときは 大山に行こう
 きやらぼくの みどり葉が
 あなたのさびしさをつつんでくれる
 そう、大山はみどりがいっぱいだから

あなたがもしも 愛する人と
 明日のひかりを 夢みてみたい
 そのときは 大山に行こう
 北壁の きびしさが
 ふたりに人生を おしえてくれる
 そう、大山はひかりが いっぱいだから

あなたがもしも 自然の中で
 親しい仲間と 話してみたい
 そのときは 大山に行こう
 銀のいたたきで
 小鳥があこがれを うたってくれる
 そう、大山は小鳥が いっぱいだから



大山と生きるまち
大山町

大山町役場本庁

〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御来屋328
TEL 0859-54-3111 FAX 0859-54-2702

中山支所

〒689-3111 鳥取県西伯郡大山町赤坂66
TEL 0858-58-6111 FAX 0858-58-4024

大山支所

〒689-3332 鳥取県西伯郡大山町末長500
TEL 0859-53-3311 FAX 0859-53-3790

大山町 <http://www.daisen.jp> **検索**